

赤坂

第15号

北九州市立赤坂小学校

文責 梶原 秀朗

【学校教育目標】

自ら学び考え、心豊かで、
心身ともに健康な児童の育成

ただ今、“令和の秋”になるよう取組中！！

先週18日の学習参観、ご多用の中にも関わらず、多くの保護者の方がご参観いただきありがとうございました。さて、2学期が始まって4週間が経ちました。学校では、前号でもお知らせいたしましたように、「令和の秋」を合い言葉に活動中です。今号では、学校での取組の様子をご紹介します。

☆笑顔いっぱい 花いっぱい運動(全学年)

今年もふるさと会の方と一緒に「笑顔いっぱい 花いっぱい運動」に取り組みました。体育館周辺にプランターを並べています。今、体育館の周りが花いっぱいになるように子どもたちは水やりをがんばっています。ふるさと会のみなさん、ご協力ありがとうございました。



苗の植え方をふるさと会の方から教えていただきました。

☆消防士さんといっしょ (4年生)

17日(火)に4年生対象の「消防士さんといっしょ」事業が行われました。この事業は、防火・防災のプロである消防職員が「ゲストティーチャー」として小学校に出向き、4年生の社会科で学習する「消防のしごと」の授業として実施されます。子どもたちは、煙避難訓練や消火訓練等の体験を通して、防火・防災活動の大切さや火災の恐ろしさについて学ぶことができました。来年から本格実施の新学習指導要領では、3年生で消防の仕事について学ぶため、11月には現3年生でも実施されます。



水消火器を使って「火事だー！」



実際の消火ポンベは、もっと重いので大変な仕事だということが分かりました。

☆人権講演会 (4年生～6年生・保護者対象)

18日(水)学習参観後に体育館で、人権講演会を行いました。講師にFRENDSの「小野アンリ」様を迎え、「そのままのあなたで」という演題で講話をしていただきました。講話では、LGBTについて小学生に分かりやすく話をしてくださいました。おかげで、子どもたちは、講話を集中して聞くことができ、性の多様性についてしっかりと考えることができたようです。



【裏面もお読み下さい。】



講師の話をしっかりと聞く子どもたち

☆特別支援教育「啓発学習」(全学年)

人権学習参観後、今全学年で特別支援教育について、啓発学習を行っている最中です。この学習では、にこにこ学級や通級指導教室に在籍している子どもたちのことを知り、望ましい人間関係を身に付けるきっかけになることを意図しています。各学年の学習では、学年に応じてにこにこ学級担任や通級指導教室の担当者から学級や交流児童についての説明を行っています。学習後の感想から、子どもたちは、特別支援学級等の子どもたちともっと仲よくしていこうとする気持ちが高まったようです。



感想をお願いします！

☆またまたまた地域の力に感謝！！

19日(木)に、「赤坂まちづくりプラン」に基づき、今回も5年生の家庭科学習の中で、地域のお力をお借り致しました。5年生は、ミシンを使ってナップサックを製作します。ミシンの使用は初めてなので、地域の方のお力を借りながら作っていきます。最初の時間は、仕付けの仕方を地域の方に教えていただきました。子どもたちは、作ったナップサックを自然教室で使用するため一生懸命学習



仕付けの仕方はね・・・。

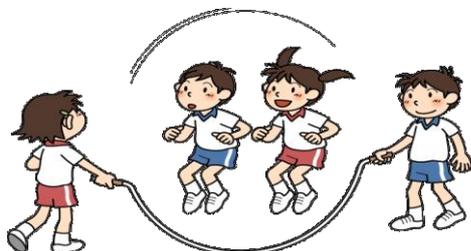
に取り組み、分からないところは、進んで地域の方に尋ねていました。次回からは、ミシンを数台使って一斉に縫っていきます。その際にも地域の方にお願いしています。

☆たてわりグループで遊ぶ日

19日(木)昼休みに、本年度3回目の「たてわりグループで遊ぶ日」を実施いたしました。この活動は、たてわりグループで休み時間を一緒に過ごすことで、児童相互の交流を図り、あたたかい心の育成を図ることをねらっています。6年生が1年生を迎えに行く間に、5年生が班カードを持ち全員揃うまで待っててくれました。その後、班ごとに長縄遊びをしたり、自由に遊んだりしました。高学年の子どもたちが優しく低学年のお世話をしていました。「れいわのあき」の「わ」と「き」がしっかりとできていて赤坂っ子たちは、素晴らしかったです。



〇班の人、集合してください。



長縄何回跳べるかな？